

平成 21 年 7 月 9 日

7 月定例所長会見における高橋所長挨拶内容

○ 所長の高橋でございます。本日、私からは 3 点申し上げます。

○ まずは、「7 号機および 6 号機の点検・評価」についてです。

7 号機のプラント全体の機能試験につきましては、6 月 19 日に最終的な評価結果について問題がないことを確認し、その評価結果報告書を 6 月 23 日に原子力安全・保安院へ提出いたしました。

その後、6 月 29 日に原子力安全・保安院より、7 月 2 日に原子力安全委員会より、それぞれプラント全体の機能試験・評価結果について安全上の問題はないことのご確認をいただきました。これを受け、当社は、7 月 3 日に新潟県、柏崎市および刈羽村に伺い、その旨をご報告するとともに、7 号機の運転再開にあたって地元自治体からご要請をいただいております 4 項目への対応状況につきましても、あわせてご報告させていただきました。さらに、7 月 7 日には、これらについて新潟県の技術委員会にご報告し、ご審議いただきましたが、今後は、地元自治体のご意向を踏まえながら適切に対応してまいります。

また、6 号機につきましては、6 月 17 日に 26 項目ある系統機能試験の評価が全て完了し、プラント起動前に評価すべき設備健全性に関する報告書およびプラント全体の機能試験計画書を 6 月 23 日に原子力安全・保安院へ提出いたしました。

その後、同じく、原子力安全・保安院ならびに原子力安全委員会より、プラントの起動について安全上の問題はないことのご確認をいただいたことから、7 月 3 日に新潟県、柏崎市および刈羽村に運転再開のお願いをさせていただきました。

当発電所といたしましては、7 号機ならびに 6 号機のこれまでの取り組みや、今後の 6 号機におけるプラント全体の機能試験につきましても、これまで同様、国や地元自治体、地域の皆さまに丁寧にご説明してまいります。また、今回の被災により得られた知見を活かして、安全で災害に強い原子力発電所となるよう、全力で努力してまいります。

○ 2点目は、「ふれあい訪問活動の実施」についてです。

当発電所では、今月下旬から約2週間の予定で、社員がご家庭を訪問し地域の方々の声をお聴きする「ふれあい訪問」活動を実施いたします。

この活動は、これまでも年2回行っており、今回で通算8回目となりますが、私自身も、これまでと同様「ふれあい訪問」活動に積極的に参加し、地域の皆さまからのご意見やご要望を直接お聴きしたいと考えております。

また、既にご案内申し上げているとおり、昨日から2日間の予定で、柏崎市と刈羽村において地域説明会を開催しております。中越沖地震後9回目となる今回の説明会では、7号機・6号機をはじめとする発電所の点検・評価、復旧状況等についてご説明し、皆さまからのご意見をお聞かせいただいております。

当発電所といたしましては、今後もこうした様々な機会や各種媒体を通じて発電所の状況を分かりやすく説明するとともに、地域の皆さまの声や思いをお聴きし、それらを発電所の業務運営にしっかりと反映してまいります。

○ 3点目に、夏休み恒例のイベントについてご紹介します。

「ジュニアサイエンスアカデミー」は、地域の科学技術文化の発展を支援するイベントとして毎年夏休みに実施しており、本年で通算11回目の開催となります。詳細は、お手許のパンフレットでご案内している通りですが、今年は8月8日～9日の2日間、「天文～人と宇宙の現在・過去・未来～」をテーマとして、サイエンス・レクチャーやサイエンス・キャンプを企画しております。

この他にも、サービスホールにおける各種ミニイベントなど、ご家族でお楽しみいただけるイベントを開催する予定です。

○ 最後になりますが、新潟県中越沖地震の発生から間もなく2年となります。これまでの間、地域の皆さまをはじめ、多くの方々から貴重なご意見、ご支援・ご指導をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。当発電所といたしましては、今後も、各号機の点検・評価、耐震強化工事について、作業安全・火災防止を徹底し、慎重に実施してまいります。

以 上

添付)

- ・ 柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX
- ・ プレス公表（運転保守状況）

# 柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成21年7月)

発電所運転状況

平成21年7月9日

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況							補足説明	
			8	9	10	11	12	1	2		3
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	第15回定期検査中 定検停止期間:H19.5.4~	第14回 H17.6.14 ~ H18.5.30 停止期間 H17.6.14 ~ H18.4.30 (321日) (原子炉起動H18.4.26)	第15回定検による停止								
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H19.2.19~	第11回 H17.9.3 ~ H18.5.9 停止期間 H17.9.3 ~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定検による停止								
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H19.9.19~	第9回 H18.5.12 ~ H18.9.15 停止期間 H18.5.12 ~ H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第10回定検による停止								
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H20.2.11~	第9回 H18.4.9 ~ H19.1.11 停止期間 H18.4.9 ~ H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	第10回定検による停止								
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H18.11.24~	第11回 H17.7.4 ~ H17.11.2 停止期間 H17.7.4 ~ H17.10.8 (97日) (原子炉起動H17.10.8)	第12回定検による停止								
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	第8回定期検査中 定検停止期間:H19.5.24~	第7回 H17.12.10 ~ H18.5.12 停止期間 H17.12.10 ~ H18.4.13 (125日) (原子炉起動H18.4.10)	第8回定検による停止								
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	第8回定期検査中 定検停止期間:H19.11.15~H21.5.20 現在調整運転中	第7回 H18.8.23 ~ H19.1.11 停止期間 H18.8.23 ~ H18.12.5 (105日) (原子炉起動H18.12.2)	第8回定検による停止								

プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

### 発電所設備利用率(%) (6月末現在)

6月	16.4%
21年度累計	6.4%
運転開始後累計	67.8%

### 発電所発電電力量(万kWh) (6月末現在)

6月	97,014
21年度累計	115,662
運転開始後累計	80,307,498

### ドラム缶発生量(本) (H20年度第4四半期)

当期発生本数	1,216
貯蔵庫累積貯蔵本数	24,408
貯蔵庫保管容量	45,000

### 使用済燃料貯蔵体数(体) (H20年度第4四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	12,380
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

### 構内従業員データ(人) (7月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	892	3,008	41%
	刈羽村	87	299	4%
	その他	72	1,608	18%
	小計	1,051	4,915	63%
県外		113	3,379	37%
合計		1,164	8,294	-
		9,458		100%
協力企業社数(社)		954		

「比率」について端数処理の関係で数値と計が合わない場合がある。

### 来客情報(人) (6月末現在)

	6月	年度累計
地元	905	4,070
県内	1,161	4,220
県外	2,648	7,019
国外	10	74
合計	4,724	15,383

### 今後の主なスケジュール

予定日	内容
7月16日	コアリズム教室 (柏崎エネルギーホール)
7月16・17日	第135回名画鑑賞会 (柏崎エネルギーホール)
7月18日	TEPCO環境月間記念イベント ココロとカラダでエコを感じよう (柏崎市総合体育館メインアリーナ)
7月25日	きなせ納涼祭 (き・な・せ)
8月6日	次回定例所長会見予定
8月8・9日	ジュニアサイエンスアカデミー2009
8月21・22日	スイーツデコ教室 (柏崎エネルギーホール)

インターネットホームページアドレス  
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社  
 柏崎刈羽原子力発電所  
 広報部  
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）  
～ 中越沖地震関連を除く～

平成21年7月9日  
定例所長会見資料

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
	4月15日	3号機	原子炉建屋（非管理区域）における油のにじみについて（区分）	<p>（事象の発生状況） 当所3号機は定期検査中ですが、平成21年4月15日午前11時35分頃、原子炉建屋1階の非常用ディーゼル発電機（3A）燃料ディタンク室（非管理区域）において、ディタンクの点検用マンホールのフランジ部から油（軽油）がにじみ出し、床に溜まっていることを、パトロール中の当直員が発見しました。床に溜まっていた油は約37ミリリットルでした。</p> <p>（安全性、外部への影響） 漏れた油には放射性物質は含まれておらず、本事象による外部へ放射能の影響はありません。</p> <p>（対応状況） 当該フランジ部を開放して点検したところ、シール面に塗る液状のシール剤が一部不均一になっていたことから、時間経過とともにシール性が低下し、にじみ出たものと推定しました。今後、液状のシール剤を適量かつ均一に塗布するとともに、施工要領書に明記することと致しました。</p>
	6月12日	3/4号機	サーピス建屋連絡通路（屋外）におけるけが人の発生について（区分）	—
	6月19日	4号機	変圧器付近（屋外）におけるけが人の発生について（区分）	—
	6月23日	荒浜側洗濯設備建屋付近	荒浜側洗濯設備建屋付近（屋外）における油漏れについて（区分）	<p>（事象の発生状況） 平成21年6月22日午後3時12分頃、荒浜側洗濯設備建屋の南側（屋外）において、洗濯設備建屋の復旧作業のため周辺地盤を掘削していた協力企業作業員が、掘削機の油圧ユニット内のホースに亀裂があり、そこから作動油が漏れいし掘削穴に溜まっていることを確認しました。直ちに掘削機を停止し、作動油の漏れは止まりました。漏れいた作動油は約75リットルでした。</p> <p>（安全性、外部への影響） 漏れた作動油は放射性物質を含んでおらず、本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>（対応状況） 掘削穴に漏れた作動油を回収しました。作動油が染み込んだ土壌は回収し、洗浄処理を完了しました。今後、油圧ユニット本体を交換します。</p>

プレス公表（運転保守状況）  
～ 中越沖地震関連を除く～

平成21年7月9日  
定例所長会見資料

No.	お知らせ日	号 機	件 名	内 容
	7月1日	5号機	海水熱交換器建屋（非管理区域）における海水の流入について（区分）	<p>（事象の発生状況） 定期検査中の5号機において、平成21年6月30日午後10時32分頃、「サンプル制御盤異常」警報が発生したことから、当社当直員が現場を確認したところ、海水熱交換器建屋（非管理区域）地下2階南西にある海水ストームドレンサンブ周辺に水たまりを確認しました。その後、水の流入経路を確認したところ、海水熱交換器建屋と循環水配管ピットの間にパイプスペースから水が流れてきていることが分かりました。また、隣接する循環水建屋の状況を確認したところ、循環水ポンプピットおよび循環水配管ピットにも水が溜まっていることを確認しました。</p> <p>（原因調査） 取水路の循環水ポンプ（A）の止水ゲートを確認したところ、止水ゲートの前後を均圧にする弁が全閉状態でないことが分かりました。当該弁が全閉状態でなかったため、取水路の海水が循環水ポンプ（A）に回り込み、循環水配管ピットを経由して海水熱交換器建屋に流入したものと推定しております。なお、海水熱交換器建屋内に溜まっていた海水の量は、最大で約100立方メートルと推定しております。</p> <p>（安全性、外部への影響） 溜まっていた海水は放射性物質を含んでおらず、本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>（対応状況） 詳細な原因調査を実施した結果、止水ゲートを閉じた際に、本来自重で落下して閉まるべき均圧弁が汚れ等により完全に閉まらず、その隙間から海水が流入したものと推定いたしました。今後、均圧弁周囲の清掃、マーキング等による弁全閉状態の確実な確認、漏えい確認の頻度の増加、弁全閉固定金具の設置などの対策を講じます。</p>